



(公財) 広島観光コンベンションビューロー Monthly News 2023年5月 (Vol. 338)



国際会議に対する誘致助成制度の拡充についてお知らせ

令和5年度から、助成金の対象となる現地参加者の基準を100人以上から50人以上に引き下げ、小規模会議も対象にします。さらに、現地開催とオンラインを併用したハイブリッド開催の会議（現地参加者50人以上300人未満の中小規模会議）についても助成金を増額します。国際会議を検討されている主催者の皆さまは誘致助成制度を是非ご活用ください。

詳しくはこちらのページをご参照ください。URL : <https://www.hiroshimacvb.jp/support/> (MICE 推進部)

「第24回国際ステラレータ／ヘリオトロンワークショップ (ISHW)」2024年広島開催決定！

第24回国際ステラレータ／ヘリオトロンワークショップ (ISHW) が2024年9月9日(月)～9月13日(金)までの5日間、広島で開催されることが決定しました。この国際会議は、ステラレータ・ヘリオトロン磁場配位を用いた磁場閉じ込め核融合に関する物理・工学を議論することを目的として、1977年以来隔年で開催されています。日本での開催は7年ぶり5回目となり、核エネルギーの平和利用を広島から発信することの意義等が高く評価され、広島が選定されました。開催期間中は世界14か国から世界をリードする研究者約200人の参加が見込まれています。

(MICE 推進部)

広島サミット県民会議からのお知らせ



**G7広島サミット開催直前となりました！
ぜひ温かく各国首脳や
代表団等の皆さんをお迎えください。**



● G7広島サミットおもてなしメイキング動画の作成

市民・県民の機運醸成とサミットに関連して広島を訪れる方に対して広島の魅力を発信するため、【広がる・高まる！活動と意識】、【思いをつむいで】の2種類の動画を作成しました。ぜひご覧ください。



【広がる・高まる！活動と意識】



【思いをつむいで】

● サミット期間中の平和記念公園・宮島などへの影響

サミット開催期間の5月19日(金)～21日(日)の間、G7首脳等が平和記念公園や宮島を訪問する可能性があります。その際には、交通機関の減便や運休はもとより、平和記念公園への立入制限や、宮島への入島制限の実施などにより、皆さんが十分に観光を楽しんでいただける環境とはならないことが想定されます。

訪問を検討されている方はこうした状況を踏まえ、訪問時期の変更などの検討をお願いします。詳しくはホームページをご覧ください。

また、その他の施設においても、各国首脳等の要人の立ち寄り先となった場合、安全を確保するための立入制限が行われ、関係者以外は入場できなくなる可能性があります。

<サミット開催前後に予想される影響>

平和記念公園の立ち入り制限、平和記念公園内施設の休館については、広島市ホームページで <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/g7summit/330078.html>



広島市 HP

G7 広島サミットで G7 首脳などが宮島を訪問した場合の各種規制については、廿日市市ホームページで <https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/129/92449.html>



広島県警 HP

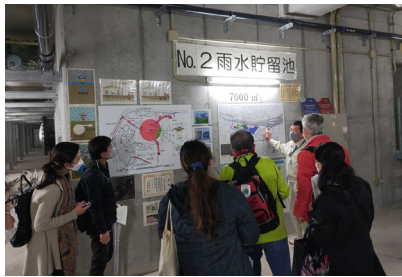


廿日市市 HP

交通規制情報については、県警察ホームページで

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police-summit/traffic.html>

オール広島観光コミュニティ活動報告



観光事業者の交流の場、知識・経験習得の場として展開しているオール広島観光コミュニティ（旧インバウンド事業道場）では、4月12日（水）に広島県立美術館と共同で特別展「川瀬巴水 旅と郷愁の風景」展の特別鑑賞会を実施しました。当日は観光ガイドほか37人が参加し、同館の学芸員から解説を受けた後、同展を鑑賞しました。日本各地の風景を描いた版画作品約160点の中には宮島巖島神社を取り上げたものもあり、参加者も鑑賞に熱が入っていました。

また、4月25日（火）には広島市下水道局大州雨水貯留池の見学会を実施しました。普段、立ち入ることのない公共施設の知識を深め、観光案内や商品造成の参考にしてもらうもので、マツダスタジアムの地下に建設された巨大な雨水貯留池を見学しました。当日は7人が参加し、参加者からは、「球場の地下に広がる施設の見学は初めてで勉強になった」との声や、見学後に配付されたカープ坊やのマンホールカードに喜び声が聞かれました。

オール広島観光コミュニティでは、今後もこのような見学会等を予定しており、参加者も随時、募集しています。詳しくはこちら <https://www.hiroshimacvb.jp/info/news/2239.html> をご覧ください。（魅力創造部 受入態勢整備担当）

広島東洋カープ沖縄協力会が表敬訪問

4月14日（金）、広島東洋カープのキャンプ地である沖縄市から、宮里敏行沖縄商工会議所会頭を会長とする広島東洋カープ沖縄協力会の皆さんをお迎えしました。

同会は、1982年の設立以来、カープの沖縄市での自主トレ・キャンプを全面的に支援しておられ、例年、春・夏の2回カープの応援に来広されています。

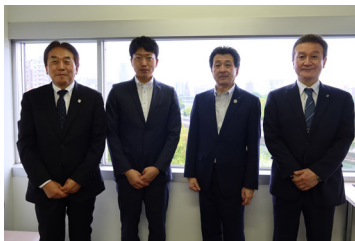
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、過去3年実施できておりませんが、広島からは、例年旧盆明けの週末に沖縄で開催される「全島エイサーまつり」に合わせ、当ビューローから親善訪問団を派遣しており、沖縄市民と交流を深めるとともに、広島のPRを行うこととしています。

（魅力創造部 魅力創造担当）



宮里沖繩商工会議所会頭（前列中央）をはじめとする広島東洋カープ沖繩協力会の皆さんと当ビューロー役職員

北海道北広島市 水口副市長が表敬訪問

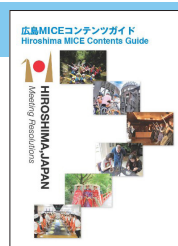


4月19日（水）、当ビューローと親善交流を行っている、北海道北広島市の水口真副市長をお迎えしました。北広島市（旧広島町）との交流は1977年に始まり、当ビューローが北海道に訪問した際には、マスコミ訪問と現地イベントでの観光PRや、同市広島県人会との交流等を行っています。また、北広島市からは、夏に平和学習で訪れる「北広島市子ども大使」の受入れを行っており、相互の交流について意見を交わしました。（魅力創造部 魅力創造担当）

水口北広島市副市長（中央右）、竹内北広島市秘書課主査（同左）と当ビューロー役職員

「広島 MICE コンテンツガイド」を新たに作成

広島ならではのコンテンツを紹介する「広島 MICE コンテンツガイド」を新たに作成しました。インセンティブ旅行に最適な体験メニューや、会議開催に必要となる「テクニカルビジット」「アトラクション」のメニューなど、広島ならではの MICE コンテンツを紹介しています。広島での MICE 開催が実りあるものになりますよう、当ビューローがお手伝いをさせていただきます。掲載しているもの以外のコンテンツもありますので、お気軽にお問合せください。（MICE 推進部）



新規賛助会員のご紹介～ご入会ありがとうございます～

（団体名五十音順）

業種	団体名	代表者（敬称略）	〒	住所	TEL
団体	広島県公立大学法人叡啓大学	学長 有信 睦弘	730-0016	広島市中区幟町1-5	082-225-6201
PCO・人材派遣等サービス	株式会社PCO	代表取締役 西田 美樹	939-8063	富山市小杉120	076-429-5708
広告業	株式会社山菊広島支店	代表取締役社長 棚澤 茂己	732-0811	広島市南区段原1-6-18 アペックス101	082-568-4580

発行 （公財）広島観光コンベンションビューロー URL <https://www.hiroshimacvb.jp/>

〒730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル6階

TEL 企画総務部 082-554-1861 MICE 推進部 082-554-1862 FAX（各部共通）082-554-1815
魅力創造部 魅力創造担当 082-554-1811、観光客誘致担当 082-554-1812
受入態勢整備担当 082-554-1814、にぎわいづくり担当 082-554-1813